

図書館だより No.8

2024 年 12 月発行
松 阪 高 校 図 書 館

図書館だよりをお届けします。*Google Classroom での配信 および HP 掲載*
図書館からのお知らせや「図書委員のすすめ本」、本や読書にまつわる情報を掲載しています。
学校図書館は「読書センター」であり、「学習・情報センター」でもあります。図書館を上手に利用し、「未来の自分」のための学びに役立ててください。
なお、保護者の方はお子様（松高生）を通じて本を借りていただけます。どうぞご利用ください。



冬の長期貸出が始まっています

12月9日（月）～12月26日（木）

この期間に借りた本の返却期限は

1月10日（金）

貸出冊数制限 なし

この機会に、読んでみたい本をたくさん借りて、
冬休み読書を満喫してください。



❀ 冬休み中も開館時間は 8:20～16:50、下表の ○ 印が開館日です。

12月

月	火	水	木	金	土	日
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

1月

月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12

※12月27日（金）は、学校閉校日のため閉館します。

※12月28日（土）～1月5日（日）は、年末年始期間のため休館します。

☆年末の開館最終日 26日（木）は大掃除を行います。通常通り、利用可能です。



図書委員のすすめ本

『僕の世界を全部あげる』

汐見夏樹著 （ふすい絵） 一迅社 2019

この本は表紙を見た瞬間に心を持ってかれま。あまり目にしない色合いで、水滴が本物のようになっており、とても魅力的です。

本の内容は、主人公男女2人の物語です。ある日、家族からもクラスメイトからも雑に扱われ、自分が生きている意味がわからなくなっている千花と、何者かもわからない男・留生が出会いました。留生は千花のことをずっと探していたかのように、出会った瞬間「やっと見つけた」と言った。この場面は序盤に起こるので読者側も何がどうなっているのか理解できません。なので、「次はどうか」「2人の間に何かあるのか」など、疑問が次々と湧き上がってきます。このように、この本には表紙の魅力だけでなく、本の内容にも読者が話の展開に夢中になれる魅力もあります。

最初考えていたことと、全く違った予想外の展開が起こることが多々あるのでぜひ留生の言動に注目して読んでみてください。

（1年図書委員）



「三重の高校生の推し本」に松高図書館からのコメント続々掲載中！



三重の高校生のみなさんが書いた図書館の本の感想（コメント）を Web で公開しています。「コメントを読めばその本を手に取りたくなること間違いなし」というたい文句どおりの「読みたくなる本」を松高生のみなさんも探せるとよいなと思い、このプロジェクトに参加しています。

1. 右の二次元コードを読み取ると「三重の高校生の推し本」が出てきます。そのサイトで、気になる本の表紙をクリックしたり、キーワード検索したり…と思いつく方法で推しコメントを読んでみてください。読んでみたくなる本に出合えるでしょう。



2. 自分のコメントを投稿したい！

松高図書館で本を借りると、左のような返却シートがついてきます。返却シートには「本の感想アンケート」がついていますので、そのアンケートに回答を記入します。返却する本にアンケートをはさんでおくと、「三重の高校生の推し本」にコメントが投稿されます。※コメントは1か月に1度の更新ですので、すぐに反映されるわけではありません。また、すべてのコメントが掲載されるわけではありません。

松高図書館内の検索用 PC にも「推し本」のタグを作っており、
「推し本」サイトを、ぜひのぞいてみてください。



図書館文化講座報告

～ はにわがみえる！歴史がみえる！三重の文化がみえる！

松阪市文化財センター はにわ館へ行こう ～

11月29日（金）の午後、松阪市文化財センター はにわ館を訪れました。

参加者は1・2年生の図書委員と職員の22人。はにわ館の所長・福田さんから宝塚古墳と船形はにわ（ふねがたはにわ）についてのお話（古墳、とくに宝塚古墳について、船形はにわ出土から国宝指定まで etc.）を聞いたあと、はにわ館内の展示室にある展示物を見学しました。



☆ 参加者の感想（一部）

・‘はにわ’は全て人の形をしていると思っていたけれど、船の形や家の形、筒状のものもあった。お気に入りののはにわは2つ目の部屋にあった7号埴輪棺が忍たま乱太郎のしんべいにとても似ていてかわかった。大西さんは文化センターに勤めていらっしゃるから文系かと思ったら理系だった。進路の幅が広がった。※大西さんはセンター職員の方で今回の案内係。松高の卒業生です。

・ほたて貝式古墳という古墳の形があると知っておもしろいなと思った。100kgもある埴輪をどうやって古墳まで運んだのだろうや埴輪によって色が違うのはなぜだろうと思った。私もはにわを作ってみたい。

・今まで埴輪のイメージは人型の形をしたものだけかと思ったけど、古墳が作られ始めた頃には、つばなどの埴輪であったことが学べた。また、宝塚1号墳からは、国宝にも認められるほど貴重な埴輪や、古墳の構造が発見されたことを知れた。また、伊勢の土地ならではの、予想された埴輪などがあり、歴史に興味を持てた。

・はにわについて知らないことが多く、今回の講座で様々な時代の、たくさんの種類のはにわを見たり、話が聞けたりしてよかったです。私たち1年生は来年から日本史がある人もいるので、そこの学習に活かせたらいいと思います。

・古墳というものは教科書などで小学校の頃から見て、知っていたけれど、昔は11mもある一番上の部分で祭司が行われていた、など教科書には載っていないことを知れて良かった。なぜ船形のはにわが作られたのか、どういう意味をあらわしているのか、など謎に包まれている部分が多いことを知り、より一層興味をかきたてられた。とても有意義な時間を過ごすことができて良かった。

・話を聞いていて楽しかった。こんなに前のものが現代につながっているのだと感じた。宝塚古墳の船形はにわにあった‘かさ’が宮内庁に保管してあるものに描いてあるという話が興味深かった。機会が無いとなかなか行けない場所なので、行ってよかった。

・船形はにわの大きさを、手で持てるくらいの大きさだと思っていたが、実際の大きさは何人かで協力して持たないと運べなさそうなくらい大きくて驚いた。古墳や埴輪について、分かっていることもあるが、詳しいことはいまだ謎につつまれているのがおもしろいと思った。古墳や埴輪についてあまり知らなかったから、今回の講座でさまざまなことを知ることができて良かった。

・全部本物だと聞いてとても驚きました。何千年も前のものが今の私たちの目で見られていることがとても貴重なことなのだと実感しました。一つのはにわでもそれぞれストーリーがあり、たくさんの人の思いが込められているのだろうなと思いました。もっといろいろな種類のはにわも見てみたいなと思いました。



図書館だよりは、職員室前ブックポスト上と図書館入口にあります。ご自由にお持ちください。



2024.11.12～11.29 に図書館に入った本



分 類		タ イ ト ル	著 者
〇 総記	007	☆身近なモノやサービスから学ぶ「情報」教室シリーズ（全5巻）	土屋誠司・松本和幸
	007.1	AⅠ親友論 京大哲学講義	出口康夫
	007.3	情報倫理 ネット時代のソーシャル・リテラシー（第3版）	高橋慈子ほか
	007.3	テックジャイアントと地政学／日経プレミアシリーズ	山本康正
	017	学校司書という仕事	高橋恵美子
	031	◇現代用語の基礎知識 学習版 2024-2025	現代用語検定協会
	031	◇現代用語の基礎知識 2025年版	
1 哲学	146.8	臨床心理士になる方法	斉藤智弘
2 歴史	150	倫理学入門 アリストテレスから生殖技術、AⅠまで／中公新書	品川哲彦
	167	分断を乗り越えるためのイスラム入門／幻冬舎新書	内藤正典
	210.7	この国の戦争 太平洋戦争をどう読むか／河出新書	奥泉光、加藤陽子
	290.3	◇ニュースがわかる世界地図 2024／なるほど知図帳	
3 社会科学	291	◇ニュースがわかる日本地図 2025／なるほど知図帳	
	304	◇文藝春秋オピニオン 2025年の論点 100	
	331	あなたを変える行動経済学 よりよい意思決定・行動をめざして	大竹文雄
	371.1	勉強するのは何のため？ 僕らの「答え」のつくり方	苫野一徳
	372.1	学校の大問題 これからの「教育リスク」を考える／SB新書	石川一郎
7 芸術	377.1	思考を鍛える大学の学び入門 論理的な考え方・書き方からキャリアデザインまで（第2版）	井下千似子
8 言語	706.9	現代美術キュレーターという仕事	難波祐子
	801.7	翻訳家になろう！	柴田耕太郎
	813.7	◇朝日キーワード 2024	
	813.7	◇朝日キーワード就職 2024	
	814.7	◇図解 まるわかり時事用語〈2024→2025年版〉	ニュースリテラシー研究所
	815	日本人のための日本語文法入門／講談社現代新書	原沢伊都夫
9 文学	913.68キ	城崎にて 四篇	森見登美彦ほか
	913.6コ	たぶん私たち一生最強	小林早代子
	913.6チ	アイミタガイ／幻冬舎文庫	中條てい
	933.7C	◎The Land of Stories （1）～（6）	Chris Colfer
	973ホ	デカメロン（上）（中）（下）／河出文庫	ボッカッチョ

※タイトルの前の記号 ☆→リクエスト、レファレンス ◇→入試対策 ◎→特集展示（ビブリオバトルで紹介された本）